

ひろか だより

第374号

令和5年9月16日

発行

弘果 弘前中央青果株式会社

TEL 0172-27-5511

弘果



弘果早生種りんご競売の様子

早生種「つがる」「きおう」数量減も全体的に堅調な取引

弘果、津軽りんご市場では8月中旬から、早生種りんごの本格的な入荷が始まりました。今年産の早生種は、記録的な猛暑日が続く、朝晩の気温が下がらない事で、着色管理が出来ず、思う様に収穫が出来ない状況となりました。また、開花期の霜害により、側花対応したことで、シブ果・サビ果が多く、全体的に下位等級品の多い出荷となりました。更に、猛暑の影響でヤケ果が多くなり、加工品の割合も増えました。弘果の取扱い(9月12日までの累計)は「つがる」が数量21万9千箱(前年比85.6%)、平均単価4729円(同128.9%)、「きおう」が数量5万9千箱(同87.2%)、平均単価3363円(同117.2%)、津軽りんご市場の取扱い(9月12日までの累計)は「つがる」が数量10万6千箱(前年比84.7%)、平均単価4514円(同125.7%)、「きおう」が数量2万2千箱(同98.7%)、平均単価3242円(同115.3%)となり、数量減も、全国的に回り量が少ないこともあり、引き合いが強く、全体的に堅調な取引となりました。



津軽りんご市場早生種りんご競売の様子

これから「トキ」「早生ふじ系」が収穫期を迎えます。「トキ」については海外特に台湾からの引き合いが強く、食味が良くないりんごが流通することは、青森県産りんごの評価を下げ、その後の価格にも影響を及ぼします。良食味で高品質なりんご生産に向けて「適期摘葉」「適期収穫」を徹底し、栽培管理に努めましょう。



実習の成果であるメロンを手に笑顔あふれる生徒達

後継者育成事業の集大成 五所川原農林高校 ハニーゴールド収穫・出荷

つがりあんメロン「ハニーゴールド」の栽培実習を実施している五所川原農林高校生物生産科の1年生24人が8月22日、収穫、選果、箱詰め等、出荷に向けた作業を行いました。この実習は、青森オリジナルメロン生産者協議会(渋谷充会長)のメロン栽培後継者育成事業の一環として同校で実施しており、当社農産指導課の指導のもと、5月30日の定植作業から約3ヶ月間の栽培管理を生徒達が行って来ました。作業を終えた同校の古川真帆さんは「小さな苗が大きくなり、無事に収穫できたことをうれしく思います。これから『商品』として出荷し、取引されるまでが実習なので、成果が評価されることを期待します」と実習を振り返りました。全ての作業を経て出荷された99箱のメロンは8

弘果オリジナルブランド「つがりあん」(栗こ南瓜)の栽培実習を実施している柏木農業高校生物生産科13年生33名が8月31日、収穫作業を行いました。当社農産指導課職員(指導を受け、5月26日の定植から約3か月間、高品質な南瓜を目指して栽培管理を生徒たちが行ってきました。収穫を終えた同校の高杉尊さんは「栽培途中ではあまり個性が無いように感じて不安でしたが、実際に収穫した南瓜を確認したら予想していたよりも収穫できたので安心しました」



月24日、当社第1卸売場において競売が行われました。最も多く上場されたDX箱の競売では、同校の出荷史上最高値となる1箱あたり6千500円の値が付く、競り落とされた瞬間、会場から歓喜の声が上がりました。競売を見守った同校の石岡慶太さんは「過去最高値という形で、栽培してきたメロンを評価されたことが励みとなりました。これから量販店の店頭へ並ぶそうなので、沢山の人の味わってもらいたい」と感慨深く話していました。



「栗こ南瓜」を手に笑顔の生徒達

柏木農業高校 栗こ南瓜収穫・出荷

この後には販売体験も予定しているため、自分たちがつくったものを受け入れてもらえることが嬉しいですし」と話していました。この後は、風乾を経て、量販店の店頭で販売体験を行う予定です。

当社オリジナルブランド「つがりあん」シャインマスカットは、高品質を付加価値としてブランド力高め、価格向上に繋げることを目的に、出荷基準等を設けてクリアしたものを商品化してまいります。



目揃え会で基準確認

出荷時期を目前に控え、木造菰樋集荷場において9月5日、当社第1卸売場において9月12日に目揃え会が行われました。両会場合わせて約200名の参加者が「つがりあん」として出荷する際の粒や房の大きさ、形状、糖度、色の目安などの基準を確認しました。



出荷基準を確認する参加者

果実部では、適時有利販売に向けて、シャインマスカットの貯蔵販売を推奨しております。そのために保管に最適な専用コンテナを用意しております。冷蔵貯蔵販売を希望される生産者の方は、当社果実部までご連絡ください。

当社オリジナルブランド「つがりあん」いちじくは、省力で高収益が見込める作物として「いちじく」に着目し、一大産地化とブランド化を目指し、普及を推進していきます。いちじくには様々な品種があり、各品種の特性を見極め、青森県での栽培に適しているかを栽培実験や、消費に関する



産地化・ブランド化を推進

当社オリジナルブランド「つがりあん」いちじくは青森県内外の量販店で販売されています。中でも、新幹線を利用して、出荷からの時間を短縮し、首都圏量販店で販売する取り組みも行われています。当社販売担当者は「青森県において、生産、販売面でのいちじくの認知度はまだまだ低いと思います。つがりあんいちじくの更なる品質向上でブランドの価値を構築し、『作る』『売る』『買う』それぞれに対して魅力ある品目として、生産・販路を拡大していきたいと考えています」と意気込みました。



パック詰めされたいちじく

先駆的な取り組みで注目度高く視察相次ぐ

弘果総合研究開発が弘前市小沢地区に開設した「りんご高密集栽培」の経営モデル園(60ア)では今年度



高密度栽培モデル園視察の様子【JAいわて花巻】

連日猛暑日が続く中、社員が灌水や除草作業を行っており、順調に生育しています。現時点では、この栽培の特徴でもある下垂誘引作業も終了し、今後は、定植2年目である来年度からの収穫に向けて、管理作業を行っていきます。

この栽培方法は、作業の効率化、早期多収が期待され、これまで経験のない初心者でも取り組み易いため、来年度からは、研修生を2名ずつ受け入れ、新

りんご高密集栽培モデル園

規就農者として独立をサポートします。また、同園地には、自動灌水設備が設置され、省力化やスマート農業にも取り組む他、シャインマスカット等をハウスで栽培し、研修生の学びの幅を拡げています。これらは、青森県内でも先駆的な取り組みであることから、5月25日の東北農政局青森県拠点をはじめ、県外からは山形県あさひの郷協議会、JAいわて花

Hiroka R&D Inc.
弘果総合研究開発(株)
弘果総研
QR
弘果総研

巻果樹部会花巻支部、県内からは弘果岩木地区や目屋地区りんご連絡協議会等、9団体の視察訪問がこれまでにあり、注目度の高さをうかがわせています。視察の参加者は、この栽培の優位性や課題とされている点について質問するなどして、作業を行っての弘果総研社員と意見交換をしていました。

「農」の「業」を継ぐ

期待の後継者



佐々木宏介さん(29)

【園地所在地】弘前市富栄
【作付状況】りんご・4畝
【就農年】2012年

家業である「農業」に希望を見出し、夢に向けて努力する期待の後継者をご紹介します。

【きっかけ】学生時代は部活動の陸上競技に情熱を注いでいたが、高校卒業後の進路を決める際は、大学や実業団等で陸上を続けることは考えていませんでした。将来に対して「何がしたいのか」を見出せず葛藤していた中、家業であるりんご栽培

培い目を向ける機会があり、今までは部活動ばかりで手伝ったことがなく、むしろ新鮮で客観的に仕事としてのりんご栽培を知ることができました。収穫(結果)に向けて地道に作業を進めていく点が、結果を出すために練習を積み重ねていく陸上競技と似ていて、自分にはとても合っていると感じ、家業の継承を決意しました。そして家族と話し合い、高校卒業後に直ぐ就農しました。

【夢・展望】親世代をはじめ先人達が幾多の困難に立ち向かい、知識、技術を向上させ、高品質なりんごを生産し続けてきたからこそ、産地が維持されて今日があります。技術革新が進む中で、新しいものばかりではなく、先人の知恵が詰まった栽培方法等を「温故知新」の精神で取り入れ、過去、現在、未来をつなぐ形で、生産面からりんご産業発展に取り組んでいきたい。



効果を実感したと話す畠田さん
(株)弘果物流
☎ 0172-27-1800

「視覚」「聴覚」に訴える鳥害対策

「バードパンチャー」は、園地の鳥害対策に役立つアイテムを多数販売しています。大鵬町駒木の吹田一樹さんは、弘果物流の勧めで、爆音機「バードパンチャー」を園地に設置しています。設置に至る経緯について吹田さんは「カラス、ムクドリ等の鳥害に悩まされ、カイト鷹では対応しきれなくなり、爆音機を使ってみようと思ったので、園地に一台設置しました。」

「視覚」「聴覚」に訴える鳥害対策... 効果を実感したと話す畠田さん... (株)弘果物流... ☎ 0172-27-1800

品評会開催

青森オリジナルメロン生産連絡協議会(渋谷充会長)、同青年部(工藤幹康部長)共催のつがりあんメロン第11回品評会が7月7日にアム



さんの部、7月28日にアーバンデリシャスの部、8月25日にハニーゴールデンの部が開催されました。アムさんの部には20点、アーバンデリシャスの部には36点、ハニーゴールデンの部には19点が出品され、それぞれ審査員4名が厳正に審査を行い、上位入賞者が決定しました。

- 1位 工藤健誠 (駒田生産組合)
- 2位 工藤秀美 (丸駒生産組合)
- 3位 伝法谷雅孝 (丸駒生産組合)
- 1位 アーバンデリシャスの部 (丸駒生産組合)
- 2位 工藤勝男 (稲垣メロン組合)
- 3位 工藤健誠 (駒田生産組合)
- 1位 ハニーゴールデンの部 (南広森若草出荷組合)
- 2位 坂本武人 (志友会)
- 3位 樋口正順 (樋口農園出荷組合)

りんご集荷場 営業時間のお知らせ

津軽市場 【期間】11月27日まで 【休み】休市日の前日 【時間】午前9時～午後6時 五所川原集荷場 0173-29-3343 【時間】午前10時～午後6時 鶴田集荷場 080-5744-5050 鯉ヶ沢集荷場 080-5744-5048	弘果 【期間】11月30日まで 【時間】午前10時～午後6時 【休み】休市日の前日 小沢集荷場 090-7529-3736 目屋集荷場 070-2022-1905 岩木集荷場 090-1398-1415 浪岡集荷場 080-1833-1461	秋田県北集荷場 080-5849-9648 秋田県鹿角市十和田錦木 山谷1-8 【期間】10/10(火)～11/23(木) 【時間】午後1時～午後6時 大鰐集荷場 080-3149-3657 十面沢集荷場 080-4411-8759 平賀集荷場 080-5224-7684 鬼沢集荷場 090-2988-2855
---	---	---

出荷時には、品種カード・収穫カードを必ず荷受係へ提出くださるようお願いいたします。

登録も活用ください。

Web登録はこちら

Web配信はこちら

30日まで
弘果・津軽両トレサビセンターの混雑状況を弘果総合研究開発(株)のHPで公開します。

トレサビセンターへ来場する際に活用下さい。

混雑状況緩和の為、WEB登録も活用ください。

配信期間8月17日～9月30日まで

詳細は次の通りです。
【場所】弘果及び津軽市場トレサビセンター
【時間】8時～17時
事前にご記入の上、書類を一式持参して下さい。

トレサビセンター
混雑状況配信します!!

お問い合わせ ☎ 0172(29)4184